

最終日、延べ9人が首位に立つ超混戦！
吉田優利とのプレーオフを制す！

セキユウティン

ラウンド毎の上位変遷

↓予選1R 9/2 Fri.

順位	A.P.	選手名	SCORE	OUT	IN
1	-9	勝 みなみ	63	32	31
2	-6	セキ ユウティン	66	32	34
3T	-5	福田 真未	67	35	32
		原 英莉花	67	34	33
		申 ジエ	67	32	35
		若林舞衣子	67	34	33
7T	-4	藤本 麻子	68	36	32
		ユン チェヨン	68	34	34
		横峯 さくら	68	34	34
		小倉 彩愛	68	35	33
		堀 夢音	68	36	32
12T	-3	菅沼 菜々	69	35	34
		大里 桃子	69	36	33
		小祝 さくら	69	37	32
		稲見 萌寧	69	35	34
		高橋 彩華	69	32	37

↓予選2R 9/3 Sat.

順位	A.P.	選手名	SCORE	OUT	IN
1	-10	勝 みなみ	71	36	35
2	-9	吉田 優利	64	32	32
3T	-8	成澤 祐美	66	32	34
		高橋 彩華	67	34	33
		小祝 さくら	67	33	34
		原 英莉花	69	33	36
7T	-7	西郷 真央	67	33	34
		阿部 未悠	67	32	35
		申 ジエ	70	35	35
10T	-6	三ヶ島 かな	66	31	35
		霞葉 ルミ	68	34	34
		野澤 真央	68	34	34
		稲見 萌寧	69	35	34
		福田 真未	71	35	36
		セキ ユウティン	72	37	35

↓決勝R 9/4 Sun.

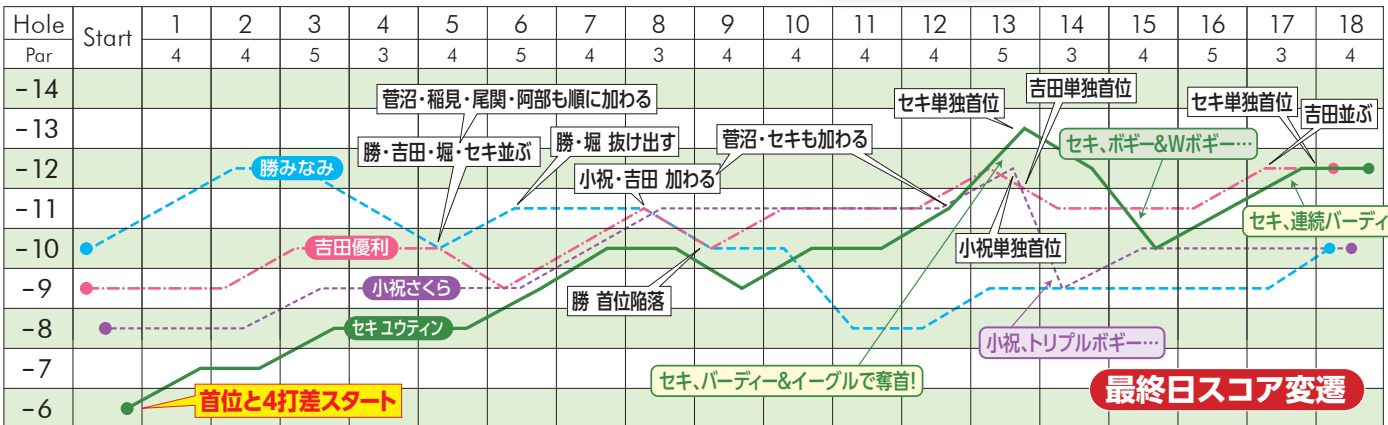
順位	A.P.	選手名	SCORE	OUT	IN
優勝	-12	セキ ユウティン	66	33	33
2		吉田 優利	69	35	34
3T	-11	堀 夢音	65	31	34
		菅沼 菜々	66	32	34
5T	-10	小祝 さくら	70	33	37
		勝 みなみ	72	36	36
7T	-9	尾関彩美悠	66	32	34
		山下美夢	68	34	34
		高橋 彩華	71	35	36
10T	-8	霞葉 ルミ	70	34	36
		阿部 未悠	71	34	37
		原 英莉花	72	35	37
13T	-7	菊地絵理香	68	34	34
		岸部 桃子	69	31	38
		福田 真未	71	35	36
		稲見 萌寧	71	32	39
		三ヶ島 かな	71	35	36

● Today's Best

参戦6年目、
ノーシードから
粘りの大逆転

【セキ ユウティン】福井県生まれ、中国出身の24歳。18歳で中国ツアーの賞金女王に輝き、17年から日本ツアーに参戦。19年ステップアップツアーで1勝、プロテスト合格、翌年新人戦を制すも、レギュラーツアー勝利どころかシード権を得られない5年を経ての5シーズン目。リランキング37位からの出場。大会前までのツアー通算98試合の成績は予選通過率は56%、TOP10フィニッシュは僅かに3度であった。

プレーオフ		
18H	1	2
セキ	△	○
吉田	△	PU



▲初日にビッグスコア「63」を叩き出した勝みなみだったが、2日間でスコアを一つしか伸ばせず2打差5位タイに終わる。誰よりも悔しかっただろうが、18番のバーディーで最高の笑顔を見せた。

9月2日から3日間、アルペングループ創業50周年記念大会第27回ゴルフ5レディスがゴルフ5カントリーオークビレッジ（バー72 6,465Y）で開催された。出場108名／予選通過60名、ギャラリー数 3日間計 4,261人、天候：1R 雨／2R 曇／FR 晴

初日、雨が落ちる中、主役の座にいたのは勝みなみだった。驚異の9バーディーノーボギー、大会コースレコードも塗り替えた。2位セキユウティンに3打差をつけ、単独首位に立つ。

2日目、思うように伸びせない最終組の勝・セキ・福田真未。勝は一時は小倉彩愛と吉田優利に並び、1バーディーノーボギーで首位を死守。しかし、差は1打。並み居る強豪が迫り、混戦モードとなった。

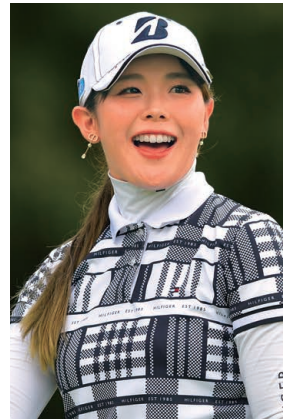
迎えた運命の最終日、バーで耐えた昨日とは逆

こうして3年ぶりの有観客で史上最高に白熱した大会は幕を下ろした。

1日目はセキがティショットを大きく右に出しボギーとするも吉田も3パットのボギー。この流れで2日目は、吉田がバーディーパットを外し、セキが沈めて決着。セキがシード圏外からツアー参戦6年目の初優勝を飾った。

残りホールがなくなっていくプレッシャーの中で吉田が17番で奇跡を起こす。13mのフックラインをねじ込みセキに並んだ。勝負の行方はプレーオフに。吉田は昨年自らが落としたプレッシャーを、今年は自身が追いついての2年連続プレーオフとなった。

だが、そう簡単には終わらない。セキは14番でボギー、15番でOBでWボギーとしてしまう。ここで一昨年の覇者・小祝が12アンダーで単独首位に躍り出る。吉田が13番で追いついたところで1組前を行く小祝が14番ショットでまさかの池ボ



▲プレーオフ1H目は優勢かと思われたが、まさかの3パット。カップも切り直され、流れを持って行かれた吉田優利。ただ3日間の最多バーディー賞を2年連続で獲得した。

大会3日間、ご観戦、ご視聴、ご声援をいただきまして、誠に有難うございました。
今後とも「ゴルフ5」ならびに「ゴルフ5レディス」をよろしくお願いいたします。